

会 議 概 要

会議の名称	令和4年度第4回湧別町社会教育委員会議
開催日時	令和5年3月23日(木) 13時30分 開会 15時30分 閉会
開催場所	湧別町文化センターさざ波 多目的ホール
出席者名	深谷委員長、山本副委員長、梅田委員、平野委員、武藤委員、杉原委員、毛利委員、渡辺委員、山口委員 9名 教委～阿部教育長、坂本課長、中島参事、藤本主幹、高橋主査、渡辺主査、北村主査、仁木主任、鈴木主事
欠席者名	安瀬委員、鈴木委員、工藤委員、三橋委員、高野委員
傍聴人の数	なし
会議の内容	1. 開 会 2. 委員長あいさつ 3. 教育長あいさつ 4. 議 事 議案第1号 令和4年度社会教育事業、反省評価について 議案第2号 令和5年度社会教育事業計画、予算について 5. 委員長あいさつ・閉会
会議資料	令和4年度第4回社会教育委員会議案
会議録	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (<input type="checkbox"/> 全文筆記 <input checked="" type="checkbox"/> 要点筆記) <input type="checkbox"/> 無
備考	

てん末書

1 日 時

令和5年3月23日（木） 13時30分～15時30分

2 会 場

湧別町文化センターさざ波 多目的ホール

3 会議及び用務

令和4年度第4回社会教育委員会議

4 出席者

社会教育委員～深谷委員長、山本副委員長、梅田、平野、武藤、杉原、
毛利、渡辺、山口 各委員 9名

欠席～安瀬、鈴木、工藤、三橋、高野 各委員 5名

教委～阿部教育長、坂本課長、中島参事、藤本主幹、高橋主査、
渡辺主査、北村主査、仁木主任、鈴木主事

5 結果要旨

1. 開 会
2. 深谷委員長あいさつ
3. 教育長あいさつ
4. 議 事（深谷委員長進行）

○報告第1号 令和4年度社会教育事業実績、反省評価について

- ・各担当より説明後質疑応答

（深谷委員長）：高齢者教育内のアクティブシニア向け新規事業で人材バンク事業の登録者2名となっているがどのような方か。

（渡辺主査）：アクティブシニア向け事業で講師をしている方2名が登録している。

○議案第1号 令和5年度社会教育事業計画、予算について

- ・各担当より説明後質疑応答

(梅田委員) : 博物館の展示について、令和5年度事業計画内の「発掘された日本列島2023」は湧別町でも見ることはできるか。

(中島参事) : 展示の協力なので町内で何か展示するという事ではない。

(平野委員) : 社会教育活動を発信できる何かがあればと考える。広報、HPで活動を発信しているが、中々目に留まっていないと思う。町内の方より町外の方の目で見つけた気づきや発見は大きい。

(坂本課長) : 情報発信について、広報などの紙と併せてHPの町の話題にも積極的に事業実施結果を掲載している。来年度以降も情報発信の部分は真摯に取り組みたいと考えている。

(教育長) : 民間の開TUG（カイトッグ）という団体がフリーペーパーを作成し湧別町の魅力発信を行っていたり、今年湧別町でコンサートを行った半崎美子さんが湧別応援大使に着任され自身のラジオの中で湧別町のPRを行っていたりもしている。教育委員会としてもHPに積極的に情報を掲載しているが、現状に甘んじることなく常に疑問を持ち改善を検討していく。

(梅田委員) : 家庭教育について、第2回会議でおもちゃ図書館について説明させていただいた。子どもが自由に出入りしおもちゃを使って遊べ、連れてくる保護者同士も繋がれるといった色々な要素がある環境が町内にあればと考えていたが、来年度計画ではその内容が掲載されていない。

(渡辺主査) : おもちゃ図書館について計画に直接記載はしていない。まだ全体像が見えていなく、これから視察や協議を重ねて具体化していければと考えている。

(梅田委員) : 第2回会議で見いただいた映像資料を家庭教育研修会、

児童の健診の際など、保護者が集まる場所で町内の若い方々にも見てもらえる機会があればと思う。こんな環境があればいいなと思い、賛同してくれる方もいるのではと考える。

(渡辺委員) : やり方も地域で変わってくると思う。おもちゃ等を整備した完成したものをやるのではなく、1度できる範囲でやってみて徐々に改善していくのがいいのではないか。

(梅田委員) : やるにしても場所がないと始まらない。場所の提供をお願いしたい。運営の際のボランティアの課題もあるが、まずは一步踏み出したいと考えている。

(教 育 長) : 行政が主体となって活動する家庭教育に関する組織はない。例えば、保護者同士で気軽に集まれる場所がないといった課題を持つ方々が、集まれる場所を作ろうとした際に、行政としては家庭教育に関わらず場所の提供、経費の相談など含めてサポートしたいと考えている。

(平野委員) : 社会教育委員会議に限ったことではないが、新しく来る委員は会議のルールや流れがわからず、発言がしにくい場となっていると思う。資料に対して意見を求められても中々難しい。教育委員会としてももっと意見を欲しがってほしい。

○その他

- ・遠紋地区社会教育委員等研修会について

日程：10月15日（日）

- ・研修会テーマ、講師は事務局で案を作成し次回会議で諮ることとした。

5. 閉 会 終了 15時30分

令和4年度

第4回湧別町社会教育委員会議案

と き 令和5年3月23日(木)
午後1時30分

ところ 文化センターさざ波 多目的ホール

〈会議日程〉

1. 開 会

2. 委員長あいさつ

3. 教育長あいさつ

4. 議 事

報告第1号 令和4年度社会教育事業実績、反省評価について P1～15

議案第1号 令和5年度社会教育事業計画、予算について P16～25

その他 ・遠紋地区社会教育委員等研修会について P26～28

5. 委員長あいさつ ・ 閉会

湧別町教育委員会

社会教育委員名簿

役 職	氏 名	住 所	出欠	備 考
委員長	深谷 聡	計呂地		
副委員長	山本 重幸	錦町		
	梅田 唯士	上湧別屯田市街地		
	平野 寿雄	上湧別屯田市街地		
	安瀬 勇	上湧別屯田市街地		
	武藤 智和	開盛		
	杉原 武純	旭		
	毛利 美紀子	中湧別北町		
	渡辺 香織	中湧別南町		
	鈴木 由美子	栄町		
	工藤 雄希峰	登栄床		
	三橋 裕介	中湧別南町		
	高野 龍彦	中湧別南町		
	山口 幸一	開盛		

(教育委員会)

役 職	氏 名
教育長	阿部 勉
社会教育課長	坂本 雄仁
社会教育課主幹	藤本 祐司
社会教育G主査	渡辺 武文
社会教育G主任	仁木 宏紀
社会教育G主事	鈴木 健太
社会教育G主事	三浦 茉畝
社会教育課参事 <small>(図書館館長、ふるさと館JRY・郷土館館長)</small>	中島 一之
図書館主査(湧別図書館)	高橋 結香梨
図書館主査(中湧別図書館)	北村 公樹
ふるさと館JRY・郷土館主任	林 勇介

報告第1号 令和4年度社会教育事業実績、反省評価について

領域	事業名	期日 場所	計画内容	予算額 実績額 (事業終了分のみ)	実績(状況)等
基盤整備	①生涯学習情報の収集・提供・相談体制の充実	年間 —	○情報収集と提供 ・生涯学習情報誌「湧く湧く」の発行(毎月) ・遠軽地区情報誌「なな・なんと情報」の発行(2カ月に1回)(湧別町が当番町) ・町ホームページによる情報の体系的整理と提供 ・動画による事業記録を収集し活用法を模索 ○相談体制の充実 ・生涯学習に関する相談体制の整備に努める。	「湧く湧く」印刷製本費 1,212千円 「湧く湧く」印刷製本費 1,066千円	○情報収集と提供 ・生涯学習情報誌「湧く湧く」の毎月発行 ・遠軽地区情報誌「なな・なんと情報」の偶数月発行。 ・町ホームページによる事業PR(4月~2月)まちの話題 記事数89件(前年同時期59件) ・動画により一部事業を記録保存し、活用法を模索している。 ○相談体制の充実 ・地域住民の学びと活動に関する相談に随時対応している。
	②指導者の発掘・養成・活用	年間 —	主体的な学習と地域貢献との好循環をすすめるため、様々な分野から指導者を発掘養成し、その活用を図る。	—	教室や講演のほか事業の企画にあたって、随時講師に関する情報を収集し活用を図った。
	③団体活動の支援・育成	年間 —	団体リーダーの養成を図るとともに、団体活動が円滑に行われるよう支援を行う。	—	団体の規模や体力をふまえて、主体的な取り組みに向けての協力を行った。
	④生涯学習振興奨励事業	年間 —	グループ・サークル等が主体的に行う講演会や鑑賞会などの学習活動に対して助成を行う。(補助率75%、ただし極めて公益性が高い場合は100%)	3件 300千円 2件 95千円	6/18~19フラワーウォッチングサギ沼・五鹿山 ゆうべつアウトドアクラブYU-PAL:50,000円 8/14第1回オホーツクオーケストラ演奏会 オホーツクオーケストラ:45,000円
	⑤施設の整備・運営・連携	年間 —	公共施設再配置計画など上位計画との整合を図りながら、施設の計画的な補修や整備を行うとともに事業連携・施設間連携により学習効果の向上を図る。	別紙施設整備計画のとおり	別紙社会教育施設整備計画に記載するとおり
家庭教育	①家庭教育研修会	12/11(日) 文化センターTOM	家庭教育が困難な現状の共通理解と家庭教育の重要性を啓発するための研修会。講演後に参加者交流会を開催。健康こども課と連携し、ニーズの把握に努め定着を図る。PTA連合会へ後援、家庭教育サポート企業に協賛依頼予定。	講師謝礼 100千円 需用費8千円 講師謝礼 40千円 需用費6千円	テーマ「子どもたちの健やかな成長を願って」 講師 吉田香織氏(子どもの食事・栄養と発育) 本間早苗氏(子どもの姿勢・骨格とマッサージ) ~講演の合間に交流会を開催 一般参加者7名(うち町外5名)、運営協力者3名 主催:教育委員会 後援:PTA連合会、健康こども課 協賛:家庭教育サポート企業、湧別町農業協同組合
	②健康こども課との事業協力	年間 —	健康こども課との打合せ会議を開催し、子育て支援センター、子育て世代包括支援センターとの協力体制の充実を図る。	—	家庭教育支援と子育て支援の連携強化に向けた打ち合わせ会議の開催 ・9/7実施(子育て相談担当、教育AD、社会教育担当) ・議題 家庭教育研修会について
	③家庭教育相談	年間 相談室ほか	教育アドバイザーによる子育ての不安や悩みについて身近に相談する機会を提供するため、ホームページの充実を図る。	—	校長と教育AD間の連絡により随時教育相談に対応している。 特に必要とする数名の保護者に対しては、直接の面談も含め継続的に相談をしている。
少年教育	①児童宿泊研修会	6/16(木)~17(金) ネイバル北見	社会性を培う機会として、全小学校5年生合同で、体験活動を実施。担当教職員の事前打合せと反省会も行い、目的や役割分担の共通理解やノウハウの蓄積を図る。	参加費57千円 (2,500円×1/2×45人) 需用費15千円 バス借上料98千円 参加費72千円 (1人3,350円×1/2助成) 需用費21千円 バス借上料104千円	全小学校の5年生42名、教諭9名、教委2名が参加 各種体験活動を通して、社会性を培う機会を提供。 4/22、5/26担当者会議を開催。担当教諭の連携を密に、スムーズな運営に努めた。また次年度生かすため7/21反省会議を実施。

報告第1号 令和4年度社会教育事業実績、反省評価について

領域	事業名	期日 場所	計画内容	予算額 実績額 (事業終了分のみ)	実績(状況)等
少年 教育	②子ども会の育成・援助	年間 —	青少年指導センターの活動支援とあわせ、単位子ども会や湧別地区サポート協議会のあり方について指導助言する。	補助金 250千円 補助金 170千円	子ども会員十育成者(保護者)合計688名(昨年757名)(子ども会安全会加入者数より)青少年指導センター事務局を教育委員会で支援(関連事業に掲載)
	③第1回子ども会リーダー研修会	7/28(木)~29(金) 五鹿山公園	住民自治の基盤ともなる地域子ども会の主体的な活動が進むよう、子ども会のリーダーとしての役割や心構えを学び、そのために必要な知識や技術の習得をめざす。また、青少年指導員の養成と活躍の機会とする。	青少年指導センター会計から支出	小学生9名参加、リーダークラブの中学生6名が企画・運営。高校生のリーダークラブ1名、青少年指導員4名が参加。集団での生活を通してリーダー養成の研修や縦のつながりができた。
	④第2回子ども会リーダー研修会	R5.3/11(土)~12(日) 紋別市生涯学習センター			中学生リーダークラブが企画・運営し実施予定。参加予定者 小学生5名
	⑤百人一首教室	11月~1月 毎週土曜日 農村センター	日本古来の伝統の競技を通して、ルールを守る大切さや礼儀作法を身につける機会とする。教室で継続指導することで、指導者と参加者の地域におけるつながりづくりも目指す。また、指導者の育成を図り実行委員会の活性化を促す。大会は実行委と教委との共催。小1~大人まで対象。	報償費48千円 需用費61千円	9/26実行委員会を開催。感染症対策を講じた上での実施は難しいなどから協議の結果、教室、大会ともに中止とした。
	⑥第54回新春交歓力タ大会	R5.1/22(日) 農村センター	0円		
	⑦湧うゆう湧くわく体験塾	年間 (月1回程度) 町内ほか	小学校4~6年を対象に体験の機会を提供し、知的探求心、地域への愛着とコミュニケーション能力を養成する。また、成人ボランティアの指導を仰ぐことで地域の教育力活用を図る。	報償費35千円 需用費20千円 報償費29千円 需用費33千円	小学生35名登録。 4/23 入塾式(28名) 5/14 チューリップフェアボランティア(22名) 6/18 パークゴルフ体験(21名) 7/23 川釣りの体験(雨天中止) 8/ 6 昔遊び体験(14名) 9/17 愛ランドYOUで仲間づくり(19名) 10/15 湧別の歴史を知ろう!(14名) 11/19 Xmasリースづくり(8名) 12/17 ネイチャークラフト(14名) 1/14 氷下釣り体験(20名) 2/11 流氷&スノーハイク(16名) 3/18 閉塾式と交流会 協力:パークゴルフ協会、生きがい大学生、網走西部森林管理署、ゆうべつアウトドアクラブ
	⑧湧別町・新篠津村友好都市少年交流事業	8/2(火)~4(木) 五鹿山キャンプ場ほか(受入年)	自然や産業体験活動など、児童の派遣と受入の交流を毎年交互に行うことで、お互いのまちの魅力を学ぶとともに交流の輪を広げる。小学校5~6年およびリーダーとして、中・高校生も参加。小学生は参加経費の半額、リーダーは全額町負担。	報償費180千円 需用費150千円 保険料16千円 入浴料39千円 報償費94千円 需用費62千円 保険料5千円 入浴料17千円	湧別町4名、新篠津村9名の小学生及び中高校生のボランティア7名(湧別4名)が参加し、今年度は湧別町で実施。仲間づくりゲームや郷土学習、漁業体験などを通して交流を深めることができた。昼食作りボランティア8名
	①青年団体の育成・援助	年間 青年会館ほか	子どもを対象とした事業、屯田七夕まつりでの出店などを行っている湧別町青年団体協議会を支援し、将来の地域のリーダー育成を図る。	補助金 160千円 補助金 160千円	4/9総会を開催。会員数15名。 5/14,15チューリップフェアイベント開催(14名) 7/16,17屯田七夕まつりイベント参加(15名) 1~3月ニュースポーツdeあそび参加
②令和5年20歳の集い	R5.1/8(日) 文化センターさざ波	20才を迎えた若者を祝い励ますとともに、社会人としての意識高揚を図る。町主催、教委主管。成年年齢引き下げ(R4)後も20歳を対象とする。 ※軽食ボランティアとの協働 ※現小学6年生に「20歳の自分へ」の作文収集	報償費415千円 需用費41千円 報償費328千円 需用費31千円	式典出席者62名、同行者44名、Youtubeでのライブ配信最大同時接続数37名 交流会は感染症対策のため軽食提供はせず、出席者主体のアトラクションを開催。	

報告第1号 令和4年度社会教育事業実績、反省評価について

領域	事業名	期日 場所	計画内容	予算額 実績額 (事業終了分のみ)	実績(状況)等
成人教育	①第46回 湧別町民大学	9月～11月 全5回 文化センターTOM	有志実行委員会組織主催。各ジャンルの講師を招き、今日的課題や地域課題等の解決に向けた学習機会を提供する。団体とのコラボ企画や、勤労世代の参加促進にも努める。町PTA連合会との連携事業。	運営費助成 2,000千円 運営費助成 2,000千円	6/9、8/9、R5.2/15に実行委員会を開催。 9/30東出俊一氏(72名)、10/6数中三十二氏(104名)、10/26北川聡子氏(68名)、11/10関根摩耶氏(95名)、11/24増田隆一氏(83名)
	②第12回 ふるさと講座	11/27(土) 文化センターさざ波	町の人を講師に、地域の価値を学び共感する機会提供のための座学講座。郷土学サークル「ふるさとから学ぶ会」との共催で行う。今回のテーマは「流水とオホーツク海」	講師謝礼 40千円 講師謝礼 35千円	高橋修平氏(道立オホーツク流水科学センター所長)、中島一之氏(JRY館長)、石垣誠一氏(漁師)を講師に、「流水とオホーツク海」をテーマにオホーツク海がどのような海か流水との関わりから学んだ。一般参加者53名
	③第10回 我がまち湧別町のお宝をたずねる旅	5/14(土) 五鹿山公園	普段見落としがちな町の価値(ニお宝)を、それに詳しい講師の案内によってバスツアー形式でたずね歩き価値を共有する。昨年、一昨年中止となった「五鹿山」の魅力を体感する企画	講師謝礼10千円 借上料55千円 講師謝礼15千円	澤口政一氏(東町)、白幡美栄子氏(港町)を案内人に、五鹿山の花や野鳥などを紹介する。(写真協力山本昇氏) 参加人数58名
	④PTA団体への援助	年間 —	各学校のPTAやその連合組織である町PTA連合会の学習活動を支援する。	補助金 180千円 補助金 180千円	連合PTA事業運営費の補助を実施。
	⑤ボランティア団体との連携	年間 文化センターさざ波ほか	はまなすボランティアなど自主的な奉仕活動を支援する。	—	
高齢者教育	①チューリップ生かがい大学の開設	年間 (月1回程度) 文化センターTOM・さざ波ほか	高齢者が充実した生活を送られるよう学習活動の機会を提供する。自主活動としてのクラブ活動も支援する。	報償費252千円 需用費36千円 印刷製本費83千円 借上料629千円 報償費154千円 需用費9千円 借上料236千円	105名入級、7クラブ。 4/19 開講式(65名) 5/17 アイヌ文化講演会(33名) 6/8 町内バスツアー「湧網線」(46名) 7/12 日帰り研修旅行「網走市」(53名) 8/22～24 宿泊研修旅行(中止) 9/15 健康体操(27名) 10/18 マジックショーと講演(47名) 11/16 日赤看護大出前講座(42名) 12/6 クラブ活動発表の会(68名) 1/19 講演会(34名) 3/8 開講式・お楽しみ交流会 ※新型コロナの影響により宿泊研修が中止となった。
	②世代間交流事業・社会活動参加奨励	年間 学校ほか	学校からの求めに応じ、小中学校の総合的な学習への支援など高齢者の持つ豊かな知恵・技術を活用する場の提供に努めるとともに相互の交流を図る。	—	8/6湧ゆう湧くわく体験塾「昔遊び体験」の講師として生かがい大学生7名が参加
	③【新規】アクティブシニア向け新規事業	年間 文化センターさざ波ほか	自分に興味があるジャンルについて3カ月単位で学ぶ「短期大学事業」、自ら設定した学習状況などを教育アドバイザーが定期的に指導する「通信制大学事業」、資格にとらわれず特技や趣味を活かした「人材バンク事業」を実施し、アクティブシニアの新たな学習の機会を提供する。	— 報償費20千円	○短期大学事業 第1期(4～6月) 2講座14名 第2期(7～9月) 2講座19名 第3期(10～12月) 3講座21名 第4期(1～3月) 5講座29名 ○通信制大学事業 申込みなし ○人材バンク事業 登録者2名

報告第1号 令和4年度社会教育事業実績、反省評価について

領域	事業名	期日 場所	計画内容	予算額 実績額 (事業終了分のみ)	実績(状況)等
芸	①文化団体の育成援助	年間 —	芸術文化活動の振興を図るため文化連盟等の育成援助を行う。	補助金 350千円 補助金 300千円	加盟団体24団体を擁し、湧別町文化連盟として活動。総合文化祭などの文化活動を展開する。令和4年度においては、展示部門を10/15・16で開催。芸能部門を10/30に開催。
	②鑑賞機会提供団体の育成援助	年間 各文化センター	①良いもの見よう聞こう会の活動支援 ②企画委員会ビッグ・ウェーブの活動支援 ③その他実行委員会等への活動支援	補助金 8,000千円 4,027千円	①良いもの見よう聞こう会 2公演実施 ②企画委員会ビッグ・ウェーブ 0公演 (11月に解散) ③その他実行委員会 0公演
文	③幼児芸術鑑賞会	7/14(木) 7/15(金) 文化センター・児童センター	幼児対象(2日2公演) 公演内容「きりがみマジック和楽器コンサート」 (有)Ezo'n music	公演料 500千円 公演料 462千円	(有)Ezo'n musicによる「きりがみマジック和楽器コンサート」公演 7/14 文化センターさざ波 児童75名 保育士9名 一般観覧 5名 計89名 7/15 文化センターさざ波 児童77名 保育士10名 一般観覧 1名 計88名 合計177名鑑賞
	④児童芸術鑑賞会	9/8(木) 文化センターさざ波	小学生全学年対象 公演内容「海底2万マイル」 劇団ポプラ	公演料 825千円 公演料 825千円	劇団ポプラによる「海底2万マイル」公演 9/8 児童237名 教員49名 合計286名鑑賞 町内小学校・学園前期全学年鑑賞。
化	⑤中学生芸術鑑賞会	10/5(水) 文化センターさざ波	中学生全学年対象(1公演) 公演内容「真夏の夜の夢」 (株)笑つ猫文化事業局	公演料 500千円 一般公演に含む	「半崎美子スペシャルコンサート」(湧別高校含) 1/26 文化センターさざ波 生徒284名 教員35名 合計 319名 ※「真夏の夜の夢」は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。
活	⑥一般芸術鑑賞会	11/8(水) R5.1.27(金) 文化センターさざ波	町民対象(1公演) 公演内容 寄席公演 (株)影向舎	公演料 3,500千円 公演料 ①3,443千円 ②5,914千円 (一般・学生向け・曲制作含む)	①秋の湧別寄席2022公演 日程 11月8日(水)19:00開演 場所 文化センターさざ波 売上枚数 273枚、入場者数252名 ②半崎美子コンサート 日程 1月27日(金)18:30開演 場所 文化センターさざ波 売上枚数 408枚、入場者数398名
	⑦子どもアート体験事業	6~8月 文化センターさざ波	国内外で活躍するアーティストが学校や文化施設に向き、子ども達と一緒にワークショップや創作活動を行い交流する事業。講師：神田山陽氏	—	こどもアート体験事業「文通でつむぐ物語講座～あなただけの桃太郎～」 6月～8月の2か月間で講師の神田山陽氏と文通やワークショップを通して桃太郎のサイドストーリーを制作した。8/4に作品朗読発表会を実施。参加者4名。
の	⑧文化芸術作品展示会等の奨励	年間 各文化センター	湧別町文化連盟加盟団体や町民個人を中心に、絵画や写真などの展示を実施し、芸術文化活動の振興を図る。	—	(1)文化センターさざ波ギャラリー展示 ①4/13~28 ふるさと館JRY「昔の写真展」 ②6/28~7/18 伊藤英二「絵画展」観覧数475名 ③7/20~8/5 神山利彦「写真絵画展」観覧数148名 ④9/17~19ソーイングさくら・菅野泰子「パッチワーク・紙ねんど展」観覧数164名 ⑤10/25~11/9 楽々絵手紙の会「絵手紙展」観覧数205名 ⑥1/24~2/5こどもスペースぱすてる「児童作品展」80名 (2)文化センターTOMギャラリー展示 常設展示～写真、俳句、友好都市交流
	⑨カルチャー教室	年間 町内施設	子どもから大人までを対象に興味や一般教養など町民のニーズに合った講座等の開催に努める。	講師謝礼 80千円 講師謝礼 53千円	(1)子ども木工教室 8/5(金)老人憩いの家木工室 小学生15名参加 (2)パラパラブックワークショップ 12/10(土)文化センターさざ波 小学生16名参加 (3)フラワーキャンドルランタンワークショップ 12/18(日)文化センターさざ波一般15名参加

報告第1号 令和4年度社会教育事業実績、反省評価について

領域	事業名	期日 場所	計画内容	予算額 実績額 (事業終了分のみ)	実績(状況)等
大会等	①第37回サロマ湖100kmウルトラマソン【中止】	6/26(日) 湧別総合体育館裏	100kmスタート午前5時00分(100kmの部) 総合体育館裏(東道路上) ※スマートフォンを活用した代替大会を検討	負担金 3,000千円 負担金 900千円	密集回避の対応が極めて困難で、大会参加者はもとより、大会運営にご尽力いただき審判員、ボランティアスタッフ、開催地域の健康と安全を確保するため中止。 (代替大会名) サロマ湖100kmウルトラマソンオンラインチャレンジ (開催期間) 6/26(日)~7/23(土) (種目) ①1day100km②1day50km ③2weeks100km ④2weeks50km ⑤4weeks100km (結果) 参加者4,066名、完走者3,486名、完走率85.7%
	②湧別町少年柔道大会「上野カップ2022」	10/9(日) 湧別総合体育館	本町のふるさと応援大使であり、柔道オリンピックメダリストの上野姉妹の冠を掲げた全道規模の小・中学生の柔道大会を開催することにより、少年相互の親睦を深め、町の活性化や交流人口の増加を図る。 参加規模：道内外小・中学生400名 大会には上野姉妹のほか、現役の女子柔道の著名人を招致する予定。	歳入総額 2,986千円 参加料700千円 スポーツ振興くじ 2,286千円 歳出総額 3,593千円 歳入総額 参加料等 565千円 歳出総額 2,748千円	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で開催し、会場内の混雑を避けるため、試合を学年ごとに4区分に分割して行った。令和元年度まで行われていた、大会前日の柔道教室や当日のサイン会、柔道教室などのイベントは開催せず、大会のみ絞って行われた。湧別の特産品が当たる抽選会は実施。(抽選会の対象は参加者) 10/9参加者32団体304名(内町内参加者1名)
	③第47回町民300歳バレーボール大会	12/4(日) 湧別総合・中湧総体	自治会対抗形式9人制バレーボール大会	消耗品31千円 食糧費33千円 0円	参加チームが2チームであったため、大会が成立せず中止。(開催要項において3チーム以下の場合は開催を中止すると明記)
スポーツ教室・講習会事業	①町民ランニング教室	8/13(土) 文化センターTOM百年記念広場	基本姿勢から高度な技術、さらには運動前後のストレッチを習得することで、運動能力の向上や怪我の予防、運動を始めるきっかけづくりを図る。 ①ランニング教室 ②陸上教室 講師:作.AC北海道代表 作田徹氏 他作.AC北海道メンバー5名 対象:①中学生以上の部 ②小学生の部	講師謝礼 120千円 講師謝礼 120千円	当日は、気温が高い状況で熱中症対策のため、参加者に対し、水分補給やマスクを外して良いことなどの周知を行った。 ①中学生以上の部 7名 ②小学生の部 35名
	②ボルダリング体験教室	R5.3/5(日) 中湧別総合体育館	ボルダリングの基礎を学び楽しみ方を味わせるとともに、技法を習得させる。 講師:遠軽高校山岳部監督 畑野和宏氏 対象:小学生	講師謝礼 10千円 0円	講師:遠軽高校山岳部顧問 畑野和宏氏、遠軽高校山岳部生徒9名 参加者:低学年の部13名、高学年の部8名
	③スラックライン体験教室	9/4(日) 中湧別総合体育館	スラックラインの基礎を学び楽しみ方を味わせるとともに、技法を習得させる。 講師:北海道スラックライン代表 山森和也氏 他サポート副代表 山森千恵子氏、アマチュア全国1位山森さほ氏 対象:指導者、小学生~一般	講師謝礼 60千円 講師謝礼 60千円 スポーツ推進委員報酬13千円	指導者に対して向けの教室を実施し、乗る、両足で降りる、片足でバランスを取るなどスラックラインの基礎を学んだ。小学生の部では、スラックラインの他にニュースポーツ「ディスフレクト」の体験も行った。 ①指導者の部 7名 ②小学生の部29名

報告第1号 令和4年度社会教育事業実績、反省評価について

領域	事業名	期日 場所	計画内容	予算額 実績額 (事業終了分のみ)	実績(状況)等
スポ	④ジュニアスイミングスクール	第1回目 7/12(火)～15(金) 第2回目 8/23(火)～26(金)	正しい泳法を習得させるとともに、泳ぐことの楽しさを味わわせ、水泳の普及拡大を図る。 講師:野口美代子(トッカリ湧波会) 藤田千秋(トッカリ湧波会) 絹張洋史(教育委員会職員) 三浦茉畝(運動指導職員) 対象:小学生	講師謝礼 48千円	新型コロナウイルス感染症対策のため、プールと2階更衣室を貸し切りにし、更衣室では密にならないよう5名ずつ入室させた。 【第1回目】 7/12・13:2年生の部(14名)28名、3～6年生の部(14名)26名 7/14・15:1年生の部(16名)31名 【第2回目】 8/23・24:2年生の部(14名)24名、3～6年生の部(14名)16名 8/25・26:1年生の部(13名)18名
		湧別プール		講師謝礼 48千円	
イ	⑤【新規】ニューススポーツdeあそび	1月～3月	町内の成人層を対象にスポーツを通じて健康や体力づくりを高めるきっかけづくりと新しいスポーツの普及や地域の活性化を図る。 指導者:運動指導職員 三浦茉畝 対象:18歳以上の町民(高校生を除く) 全5回(1月～3月)ニューススポーツ等を実施。	-	バブルサッカーやモルックなどニューススポーツを体験することにより異業種間の交流が図られた。 第1回目1/17(火)バブルサッカー 13名 第2回目1/31(火)バブルサッカー 5名 第3回目2/14(火)モルック 9名 第4回目2/28(火)モルック 9名 第5回目3/14(火)モルック 名
		湧別総合体育館他		スポーツ推進委員 報酬26千円	
教室	⑥ジュニアスケート教室	R5.1/10(火)～1/13(金)	初心者に対してスケートの楽しさを味わせるとともに、技法を習得させる。 講師:久保拓也(芭露) 藤本祐司(教育委員会職員) 三浦茉畝(運動指導職員) 対象:小学生	講師謝礼 12千円	3つのレベルに分けて行った。基本的な姿勢や滑り方を学んでもらい、時折ゲームや遊びを交えながら教室を行った。 1/10(火)30名、1/11(水)30名、1/12(木)29名、1/13(金)29名
		芭露スケートリンク		講師謝礼 21千円	
講	⑦クロスカントリースキー教室	R5.2/4(土)	スキーの楽しさを味わせるとともに、初心者から上級者まで幅広い技法を習得させる。 講師:NPO法人北海道ライフスポーツ推進協会 理事長 島田 武彦 氏 対象:小学生～一般町民	講師謝礼 60千円 スポーツ推進委員 報酬7千円	スケーティング技術やスキーの操作などを学び、技術の向上が図られた。また、指導者育成を含む指導を行っていただいた。 中・上級者の部(一般)10名
		五鹿山スキー場		講師謝礼 60千円 スポーツ推進委員 報酬7千円	
習	⑧健康運動教室	4月～3月	トレーニング器具等を使った個人(または集団や団体)指導を行うことにより町民に健康維持増進と体力の向上を図る。 担当:運動指導職員 三浦茉畝 対象:18歳以上の町民(高校生を除く)	-	準備運動としてラジオ体操、ウォーキングを行った後、様々な運動を実施した。 4/23(土)骨盤体操 12名 5/14(土),21(土)コアトレーニング 26名 6/ 4(土),18(土) リズム運動 27名 7/ 9(土),23(土) ウェーブストレッチ34名 8/ 6(土),20(土) レジスタンス運動 24名 9/24(土) ラジオ体操第一 5名 10/15(土),10/29(土)ストレッチボール 15名 11/11(金),11/16(水),12/14(水) 椅子でできるストレッチ・筋トレ運動 14名 1/13(金)体幹トレーニング 9名 1/20(金),2/10(金),2/20(月),3/3(金),3/13(月) 椅子でできるストレッチ・筋トレ運動 45名
		湧別総合体育館		-	
事業	⑨運動指導	4月～3月	①湧別総合体育館トレーニング室指導 水・金(9:00～11:00) 火・木(14:00～16:00) ※曜日・時間は変更する可能性有 ②個別運動相談・トレーニングメニュー作成 ③保健福祉分野との連携 担当:運動指導職員 三浦茉畝 対象:一般町民	-	湧別総合体育館トレーニング室に常駐し、筋力運動、有酸素運動の指導や運動相談・トレーニングメニューの作成などを実施。 4月:28名、5月:37名、6月:28名、7月:24名、8月:21名、9月:中止、10月:6名、11月:5名、12月:7名、1月:7名、2月:13名、3月:6名 【保健福祉分野との連携】 福祉課 大筋クラブでの指導 【その他】JAゆうべつ町女性部への指導
		湧別総合体育館他		-	

報告第1号 令和4年度社会教育事業実績、反省評価について

領域	事業名	期日 場所	計画内容	予算額 実績額 (事業終了分のみ)	実績(状況)等
スポーツ推進委員	①チャレンジスポーツスクール事業	5月～3月	低学年から様々なスポーツに触れることで、自分に合ったスポーツを見つけ出すきっかけづくりと、学校を越えた友達づくりの一助とする。 【事業内容】 5月 五鹿山マラソン・入学式(五鹿山ロッジ) 6月 フットベース(湧別総合体育館裏) 7月 キャンプ(湧別総合体育館裏) 8月 ランニング教室(百年記念広場) 9月 スラックライン(中湧別総合体育館) 10月 風船バレー・ミニバレー(湧別総合体育館) 11月 カローリング 他(湧別総合体育館) 12月 フロアボール(湧別総合体育館) 1月 スケート体験・氷上ホッケー(芭露スケートリンク) 2月 タグラグビー(湧別総合体育館) 3月 ミニ運動会・卒業式(湧別総合体育館) 指導者：スポーツ推進委員 対象：小学1年生～3年生	講師謝礼 パークゴルフ 5千円 フロアボール 10千円 タグラグビー 5千円 スポーツ推進委員報酬269千円 講師謝礼 フロアボール 10千円 タグラグビー 5千円 スポーツ推進委員報酬106千円	スポーツ推進委員が中心となり、様々なスポーツを実施した。感染対策を十分講じた上で、3年ぶりにキャンプを実施することができた。 5/ 8(日)五鹿山マラソン・入学式 42名 6/11(土)フットベース 26名 7/29(金)～30日(土)キャンプ 29名 8/13(土)ランニング教室 20名 9/ 4(日)スラックライン 23名 10/22(土)風船バレー・ミニバレー 19名 11/12(土)カローリング 他 13名 12/10(土)フロアボール 16名 1/21(土)スケート体験・氷上ホッケー 10名 2/18(土)タグラグビー教室 9名 3/ 4(土)ミニ運動会・卒業式 24名
		随時	自治会・老人クラブ等の要請に基づき、スポーツ推進委員が向き、軽スポーツやレクリエーションの指導を行う。	スポーツ推進委員報酬13千円	2/12(日)5の3自治会スポーツ交流会 カローリング指導1名
		町内		スポーツ推進委員報酬4千円	
事業	③スポーツ推進委員研修	随時	町民のスポーツ活動の的確な支援を行うため、研修を通じて委員としての資質向上を図る。 遠軽・紋別地区スポーツ推進委員研修会 オホーツク管内社会体育振興セミナー 北海道スポーツ推進委員研究協議会	スポーツ推進委員報酬128千円 スポーツ推進委員報酬90千円	9/10(土)滝上町 遠軽・紋別ブロックスポーツ推進委員等研修会 スポーツ推進委員4名 10/12(木)～13(金)釧路市 北海道スポーツ推進委員研究協議会 スポーツ推進委員3名 10/29(土)訓子府町 オホーツク管内社会体育振興セミナー スポーツ推進委員4名
団体活動の育成援助等	①少年スポーツ団体の育成援助	年間	少年団本部への補助	補助金600千円	湧別町スポーツ少年団本部への補助
	—	—	—	補助金600千円	
	②一般スポーツ団体の育成援助	年間	体育協会への補助	補助金735千円	湧別町体育協会への補助
	—	—	—	補助金735千円	
③大会出場助成	年間	全道大会以上の出場者に対して遠征費の一部を助成する。 (湧別町スポーツ・文化遠征費補助金)	補助金2,000千円	12件(個人5件、団体7件)	
—	—	—	補助金948千円		
④合宿誘致助成	年間	合宿を誘致することにより町のスポーツの振興を図る。 (湧別町スポーツ・文化合宿誘致事業補助金)	補助金1,464千円 詳細は別紙関連事業に記載のとおり	新型コロナウイルス感染症の影響により中止。	
各施設	—	—	0円		

報告第1号 令和4年度社会教育事業実績、反省評価について

領域	事業名	期日 場所	計画内容	予算額 実績額 (事業終了分のみ)	実績(状況)等
施設の整備活用	①施設の整備	年間 各施設	施設の点検、適正な維持管理を図る。	詳細は別紙社会教育施設整備計画のとおり	別紙社会教育施設整備計画のとおり
	②施設の活用	年間 各施設	指定管理施設の適正かつ効率的な運営に対する監督、学校開放施設に関する利用調整など体育施設の有効活用を図る。	学校開放運営報償 120千円 0円	学校開放については、新型コロナウイルスの影響による児童・生徒の安全確保のため中止。
その他	①スポーツ安全保険の加入促進	随時 —	広報及び事故手続き等の補助	—	ホームページやかわらばん等において周知し、保険の加入促進を図った。
図書館	①図書館資料の収集、整理、保存	通年	両館を特徴付けた選書を行い、それぞれに蔵書を区分し保存する。 ・資料等計画的に幅広く豊富に備え、適切な蔵書構成を維持する。 ・貴重資料のデジタル保存	資料費(図書、雑誌、新聞、視聴覚) 8,270千円	(図書館活動の実績は、1月末現在) <蔵書冊数> 図書 中湧別 76,210冊+湧別 67,020冊=143,230冊 雑誌 中湧別 1,507冊+湧別 847冊=2,354冊 視聴覚資料 中湧別 1,080点+湧別 1,737点=2,807点
		両館			
	②利用促進、読書機会の提供	通年	第3次社会教育中期計画策定		<ul style="list-style-type: none"> 5/31 第1回図書館協議会(現状と課題) 10/7 第2回図書館協議会(方策) 10/14 報告書提出 1/10~2/9 パブリックコメント ※図書館協議会委員は第4専門部会(図書館活動)担当
			第2次子どもの読書活動推進計画の策定		<ul style="list-style-type: none"> 7/5 第1回策定会議(委員5名) 8/25 第2回策定会議(委員5名) 1/25~2/24 パブリックコメント
		両館	調べものの相談、案内を通して利用促進を行う。		<貸出人数> ・中湧別5,490名+湧別2,828名=8,318名 (前年比較 中湧別95.8% 湧別94.8% 両館95.5%) <貸出冊数> ・中湧別23,462冊+湧別12,184冊=35,646冊 (前年比較 中湧別97.7% 湧別93.1% 両館96.1%)
			新着図書案内や図書館行事など、最新情報の提供に努める。 ・読書通帳提供 ・図書館だより、新着図書案内の発行 ・ホームページの活用		<ul style="list-style-type: none"> パスファインダー、ブックガイド発行、配布 図書館だより、新着図書案内の発行 ホームページの更新
③ブックスタート	毎月1回	4ヶ月児健診時に、乳児とその保護者へブックスタートバック(絵本などが入ったバッグ)をメッセージと共に手渡す。また、5歳児健診時には絵本を1冊とブックガイドを渡す。	資料費(絵本) 142千円	<ul style="list-style-type: none"> ブックスタート 25組 	
	健診会場	協力(バッグ制作) ・ルピナスの会 協力(読み聞かせ) ・リーディング倶楽部たんぽぽ ・湧高ボランティア部			

報告第1号 令和4年度社会教育事業実績、反省評価について

領域	事業名	期日 場所	計画内容	予算額 実績額 (事業終了分のみ)	実績(状況)等
図書館	④絵本くらぶ	年間 (毎月1回) 両館	3歳までの乳幼児がいる家庭におすすすめ本セットを宅配する。(登録制)		登録者 19組(会員登録23名) ・貸出実績 人数 155名 冊数 775冊 (※絵本くらぶセットの貸出は、1家族1セット)
	⑤移動図書館車の運行	通年 両館	移動図書館車で町内を巡回し、広域サービスを実施する。機動性を活かし遠隔地域を中心に据え、子どもから大人まで図書に出会う場を上げ、読書活動の推進を図る。図書館職員が選本した文庫を配本する。 ・各小中学校、義務教育学校、湧別高校 ・各郵便局 ・児童施設 ・高齢者施設等		<貸出冊数> ・合計 14,547冊 内訳 個人 2,771冊(前年比較 48.6%) 団体 11,776冊(前年比較 79.9%)
	⑥学校図書館支援	通年 町内学校	・クラス配本 ・学校図書館用図書の購入支援 ・学校図書館レイアウト相談 ・学校図書館蔵書管理、蔵書計画 ・図書館見学の受入 ・職場体験の受入 ・読書オリエンテーション ・家読おすすすめ絵本リスト作成配布		・クラス配本 ・学校図書館用図書の購入支援 ・調べ学習用図書整備 ・学校図書館蔵書管理、蔵書計画 ・図書館見学 (芭露学園、湧別小、中湧別小、上湧別小) ・読書オリエンテーション(10/4、10/12) ・職場体験(湧別高校、上湧別中学校、芭露学園、遠軽高校) ・連携授業(湧別小学校 4年～6年) ・学習成果発表展示(湧別小学校 5年生)
図書館	⑦古本コーナー	通年 両館	古本、古雑誌のリサイクル活動。		ロビー等にて実施 累計利用数 中湧別 2,019冊 湧別 1,314冊
	⑧特別展示	9月～10月 両館	町民大学講師著作展示		町民大学講師著作展示
		年間 両館	テーマ：年中行事		貸出ランキング、チューリップ、子どもの日、本屋大賞、母の日、雨、ようちえん絵本大賞、ピクニック、父の日、雨を楽しむ絵本、夏、読書最強か、七夕、海、湧別町BEST絵本100、敬老の日読書のすすすめ2022、虫、のりもの、秋を感じる絵本、日本絵本賞、ハロウィン、クリスマス、お正月干支えほん、おやすみ絵本、ベストミステリー、うさぎ年絵本、ブックオブザイヤー2022、節分、このミステリーがすごい!、絵本屋さん大賞2021、だいすきパンの絵本
		4/23～5/10 両館	子ども読書週間		「こんちゅうワールド」(中湧別図書館) 「子どもの本総選挙」(湧別図書館)
		10/27～12/5 両館	読書週間		10/22～11/27 「だいすき!たべものの本」中湧別図書館 10/27～11/9 「ファミリーヒストリーの調べ方」湧別図書館
		未定 中湧別図書館	絵本原画展示	著作物使用料 30千円 著作物使用料 20千円	絵本原画巡回展 7/1～7/14 山本孝著「おばけのきもだめし」
年間 両館	協力展示(展示スペースの貸出)	—	食生活サポート(健康子ども課)、教科書展(教育総務課)、鉄道展(遠紋ブロック公共図書館)		

報告第1号 令和4年度社会教育事業実績、反省評価について

領域	事業名	期日 場所	計画内容	予算額 実績額 (事業終了分のみ)	実績(状況)等
図書館	⑨連携・ネットワーク	通年 両館	ボランティア、サークル育成 ・読み聞かせ活動支援(りんごっこ、リーディング倶楽部たんぼぼ、湧別高校ボランティア部)		・リーディング倶楽部たんぼぼ 毎週水曜日 湧別小学校1年～3年生読み聞かせ訪問 毎週水曜日 本の修理 ・湧別高校ボランティア部 ブックスタート用名札制作、壁画制作(中湧別図書館おはなしコーナー) ・ルピナスの会 ブックスタート用バック制作
		年3回 児童センター	児童センター事業支援 ・読み聞かせ会参加協力、読書推進事業の実施		・リーディング倶楽部たんぼぼ 12/6、1/10 育児学級読み聞かせ ・りんごっこ 12/10 なかよし児童センタークリスマス会 ・英語でおはなし会(指導:内野静香さん) 10/8、11/12、12/10、1/14 湧別図書館
		会議3回 研修2回 湧別図書館	図書館協議会 ・定例会議 ・委員視察研修 (遠紋ブロック研修会:遠軽町) (オホーツク管内公共図書館協議会:遠軽町)		5/3 第1回会議 出席委員 5名 10/7 第2回会議 出席委員 3名 11/9 視察研修(遠軽町) 出席委員 1名
		7月～9月 両館	・北海道教育委員会主催「本を読んでファイターズを応援しよう」キャンペーン参加		青少年のための200冊展示 7/20～8/30 参加者 9名
		年間	○開発行為に伴う埋蔵文化財の保護事業 ・開発事業者との事前協議 ・所在調査、試掘調査 ○埋蔵文化財包蔵地の状況把握 ・現状確認(遺跡パトロール) ・周知資料(台帳等)の整備 ◎シブノツナイ竪穴住居跡の調査 ・発掘調査:竪穴住居跡の年代等内容確認 *7月中旬～8月中旬予定 ・発掘調査概要報告書の刊行 ○シブノツナイ竪穴住居群調査検討委員会の開催 ・有識者3名、国・道の担当者2名程度 ・夏と冬の2回開催	委託料 (年代測定等) 1,037千円 印刷製本費 231千円	○開発行為に伴う埋蔵文化財包蔵地の保護活動 ・埋蔵文化財包蔵地の照会:12件 ・事前協議1件(協議継続中、他2件) ・所在調査1件 ・試掘調査0件 ・工事立会0件、慎重工事1件 ○埋蔵文化財包蔵地の状況把握 ・現状確認作業(遺跡パトロール)随時実施 ・周知資料(台帳等)の内容確認と修正 ◎シブノツナイ竪穴住居群の保護 ・遺跡の内容詳細を把握するための発掘調査 7/14～8/20 ・令和4年度発掘調査概要報告書の刊行(3/20予定) ・自然科学分析 ①古環境調査:周辺地形の環境復元(微化石) ②年代測定:竪穴住居跡の年代特定 ○シブノツナイ竪穴住居群調査検討委員会の開催 第一回:7/28開催 第二回:2/22開催 委員3名、道教委1名、町教委2名 文化庁調査官現地指導:10/13～14
文化財保護	①文化財の保護(1) 埋蔵文化財	年間	○開発行為に伴う埋蔵文化財の保護事業 ・開発事業者との事前協議 ・所在調査、試掘調査 ○埋蔵文化財包蔵地の状況把握 ・現状確認(遺跡パトロール) ・周知資料(台帳等)の整備 ◎シブノツナイ竪穴住居跡の調査 ・発掘調査:竪穴住居跡の年代等内容確認 *7月中旬～8月中旬予定 ・発掘調査概要報告書の刊行 ○シブノツナイ竪穴住居群調査検討委員会の開催 ・有識者3名、国・道の担当者2名程度 ・夏と冬の2回開催	委託料 (年代測定等) 1,012千円	○開発行為に伴う埋蔵文化財包蔵地の保護活動 ・埋蔵文化財包蔵地の照会:12件 ・事前協議1件(協議継続中、他2件) ・所在調査1件 ・試掘調査0件 ・工事立会0件、慎重工事1件 ○埋蔵文化財包蔵地の状況把握 ・現状確認作業(遺跡パトロール)随時実施 ・周知資料(台帳等)の内容確認と修正 ◎シブノツナイ竪穴住居群の保護 ・遺跡の内容詳細を把握するための発掘調査 7/14～8/20 ・令和4年度発掘調査概要報告書の刊行(3/20予定) ・自然科学分析 ①古環境調査:周辺地形の環境復元(微化石) ②年代測定:竪穴住居跡の年代特定 ○シブノツナイ竪穴住居群調査検討委員会の開催 第一回:7/28開催 第二回:2/22開催 委員3名、道教委1名、町教委2名 文化庁調査官現地指導:10/13～14
		町内各所	○北海道指定文化財アッケシ草群の経過観察 ○天然記念物の手続(死亡・はく製・調査) ・オジロワシ ・タンチョウ ○記念木業務における関連部署との調整		○(道指定)天然記念物 ・佐呂間湖畔鶴沼のアッケシソウ群落 経過観察:9月実施 ○(国指定)天然記念物 ・オジロワシ ・タンチョウ 手続(死亡・はく製・調査):0件 ○記念木 関連部署との調整:0件
文化財保護	②文化財の保護(2) 自然関連	年間 町内各所	○北海道指定文化財アッケシ草群の経過観察 ○天然記念物の手続(死亡・はく製・調査) ・オジロワシ ・タンチョウ ○記念木業務における関連部署との調整		○(道指定)天然記念物 ・佐呂間湖畔鶴沼のアッケシソウ群落 経過観察:9月実施 ○(国指定)天然記念物 ・オジロワシ ・タンチョウ 手続(死亡・はく製・調査):0件 ○記念木 関連部署との調整:0件

報告第1号 令和4年度社会教育事業実績、反省評価について

領域	事業名	期日 場所	計画内容	予算額 実績額 (事業終了分のみ)	実績(状況)等
博物館活動	①博物館資料(1) 収集	年間 郷土館・ふるさと館 JRY	<p>【開拓関連資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○資料寄贈への対応 <p>【考古資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○発掘調査に伴う出土資料の文化財認定と譲与申請 		<ul style="list-style-type: none"> ○博物館資料の寄贈受入 <ul style="list-style-type: none"> ・寄贈資料受入6件(鉄瓶ほか) ○文化財の認定と取得 <ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財の譲与申請:1件 令和3年度発掘調査出土資料
	②博物館資料(2) 整理・保管	年間 郷土館・ふるさと館 JRY・収蔵庫	<ul style="list-style-type: none"> ○考古資料 <ul style="list-style-type: none"> ・シブノツナイ竪穴住居群出土資料の整理 ○開拓関連資料 <ul style="list-style-type: none"> ・資料の保存環境整備 ○収蔵庫の管理と保管資料の状況確認 <ul style="list-style-type: none"> ・金属資料の清掃整理(防さび塗料塗布等) ・ガラスネガの写真の整理公開 ・資料外保管物の処分 ・JRY収蔵量増加 ・資料移動(旧芭小体育館) ○収蔵資料の特別利用許可に関する業務 		<ul style="list-style-type: none"> ○考古資料 <ul style="list-style-type: none"> ・シブノツナイ竪穴住居群出土資料の整理 ○開拓関連資料 <ul style="list-style-type: none"> ・保存環境の整備 ○収蔵庫の管理と保管資料の状況確認 <ul style="list-style-type: none"> ・JRY収蔵量増加 ・資料移動(旧芭小体育館) ○収蔵資料の特別利用許可 <ul style="list-style-type: none"> ・0件(ナウマンゾウ化石など)
	③調査研究	年間 —	<p>【博物館資料(開拓期)の保存・活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保存 <ul style="list-style-type: none"> ◎屯田関連情報の収集 ○活用 <ul style="list-style-type: none"> ・体験活動の系統化 ・開拓期の衣食住 ・冬期の生活 <p>【埋蔵文化財の保存・活用、博物館教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保存 <ul style="list-style-type: none"> (主にシブノツナイ竪穴住居群) ・竪穴住居跡の集落形成に関する研究 ○活用 <ul style="list-style-type: none"> ・遺跡を活用した博物館教育の実践的研究 ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・大学等研究者との共同研究 		<p>【博物館資料(開拓期)の保存・活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保存 <ul style="list-style-type: none"> ・収蔵資料の保存に関する調査研究(害虫等) ・資料清掃および注記(大型機械、鉄道資料) ○活用 <ul style="list-style-type: none"> ・体験活動の系統化 ・開拓期の衣食住 ・冬期の生活 <p>【埋蔵文化財、博物館教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事例研究 <ul style="list-style-type: none"> ・シブノツナイと道内竪穴住居群の比較 ○科学分析 <ul style="list-style-type: none"> ・シブノツナイ周辺の古環境復元 岡孝雄(北海道技術コンサル) ・擦文文化の食料分析 國木田大(北海道大学准教授) ・土器胎土分析 今泉和也(日本学術振興会特別研究員) ○教材研究 <ul style="list-style-type: none"> ・遺跡散策ガイドブック『遺跡のミカタ』の更新 ・シブノツナイ竪穴住居群案内パンフの試作

報告第1号 令和4年度社会教育事業実績、反省評価について

領域	事業名	期日 場所	計画内容	予算額 実績額 (事業終了分のみ)	実績(状況)等
博物館活動	④展示	年間 郷土館・ふるさと館 JRY	<ul style="list-style-type: none"> ○常設展示更新 <ul style="list-style-type: none"> ・解説パネルの追加 ・資料名表示の更新 ○収蔵資料展示 <ul style="list-style-type: none"> ・発掘調査速報展(仮) ・写真展(仮) ○収蔵展示室整備 		<p>【郷土館】</p> <p>○展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「令和3年度発掘調査速報展」 6/24から12/25まで ・「北の縄文展2022」(道教委主催への協力) 湧別市川遺跡の石器を出品 釧路会場: 9/17~10/29 網走会場: 10/30~12/1 <p>○入館者数(2月24日時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・423名(大人337名、内町民47名、幼児~高校86名、内町民31名) <p>【ふるさと館JRY】</p> <p>○常設展示更新</p> <p>◎企画展示「収蔵資料展: 絵葉書・要覧・写真編」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さざ波: 4/15~4/28 ・ふるさと館JRY: 5/13~5/27 <p>○入館者数(2月24日時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> 2,383名(大人1,606名、内町民149名、小学~高校708名、内町民240名)
	⑤博物館教育(1) 学校授業・研修会・講座	年間 郷土館・ふるさと館 JRY	<p>【学校授業・研修会・講座】</p> <p>○開拓の歴史 (博物館が持つ過去の生活情報の内、日常生活に活用できるものを体験学習として実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働体験(鋸・斧・鉋) ・炊飯体験(薪ストーブ・羽釜) ・開拓期の衣体験 ・囲炉裏疑似体験(屯田生活体験館) <p>○博物館親子講座</p> <p>○先史文化 (文化財である遺跡に触れ、親しむ機会を提供)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先史の工夫を学ぶモノづくり学習(土器・勾玉) ・遺跡に親しむフィールドワーク ・遺跡の知識を深める講座 <p>遺跡調査報告会(11月予定) *調査成果に応じて実施を判断する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発掘調査の現地説明(主に学校を対象) ・発掘調査を通じた大学との連携 	<p>講師謝礼 70千円</p> <p>講師謝礼 35千円</p>	<p>【学校授業、研修会等の学習機会提供】</p> <p>○授業及び展示解説実績(2月24日時点)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ふるさと館JRY 38件779名(内学校: 32件710名) ②郷土館 5件95名(内学校: 4件87名) ③出張講演 15件365名(内学校: 12件337名) ④施設利用 6件287名 <p>【講座等】 (主催)</p> <p>○令和4年度遺跡調査報告会 11/19(土)、定員50名→32名(申込38名) 講師2名: ①道埋蔵文化財センター 立田主査 ②ふるさと館JRY 林学芸員 (講師依頼: 中島館長)</p> <p>○ふるさと講座「流水とオホーツク海」(町内) 「記録から見るオホーツク海と人の関わり」 11/26(土)、約70名 (講師依頼: 林学芸員)</p> <p>○北海道立北方民族博物館公開講座(網走市) 「シブノツナイ竪穴住居群の調査について」 11/6(日)、約20名</p>
	⑥博物館教育(2) 広報・情報提供	年間 -	<p>【広報・情報提供】</p> <p>○博物館だよりの発行(湧く湧く内、HP)</p> <p>○郷土史に関する情報提供及び質問対応(レファレンス)</p>		<p>【広報・情報提供】</p> <p>○博物館だよりの発行(湧く湧く内) 4~2月号(148号~158号)</p> <p>○郷土史に関する質問対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屯田兵祖先調べ、町内の遺跡など

報告第1号 令和4年度社会教育事業実績、反省評価について 関連事業（後援・連携事業等）

団体名	事業名	期日	場所	計画内容等	実績（状況）等	備考
青年指導者	子ども会フットベースボール大会	7/10(日)	上湧別百年記念公園	単位子ども会の大会への参加を通して、青少年の健全育成を図ると同時に、地域子ども会活動の促進と、相互の交流を図る。また、監督会議や反省会等を通じ、育成会で構成される組織運営の健全化を図り、地域自治の基盤づくりを支援する。	参加チームが少ないため大会ではなく交流会として開催 参加者13名を2チームに分けて4試合実施	
	子ども会交通安全駅伝競走大会	8/28(日) ⇒ 10/2(日)	開盛小 → 中湧別小		8/5監督会議を開催し周知参加募集したが、8/23時点で申込が1チームのみであることから役員会により10/2に延期と決定した。 湧別高校からエキシビションとして参加するなど大会開催に向けて参加者を再度募集したが1チームのみの申込みだったため中止	
	子ども会交流リレーマラソン大会	8/28(日)	かみゆうべつチューリップ公園		8/28に開催を予定していた駅伝大会が10/2に延期となったことから、駅伝に参加希望のあった地区を対象に周回コースを使用したリレーマラソン大会を実施 参加チーム：4チーム28名	
	子ども会ミニバレーボール大会	11/20(日) ⇒ 12/4(日)	中湧別総合体育館		新型コロナの影響により学級閉鎖となったため日程を延期。参加チームが少ないため中湧別総合体育館で全試合を実施。 小学生の部：7チーム34名 中学生の部：6チーム27名	
	子ども会リーダー研修会	7/28(木)～ 29(金) R5.3/11(土) ～12(日)	五鹿山公園 紋別生涯学習センター	社会教育事業 少年教育参照	社会教育事業 少年教育参照	
	中高生リーダーの養成	年間	ふるさと館JRYほか	リーダー研修会の企画運営などを行う、中・高校生リーダークラブと、その指導にあたる青少年指導員の活動を支援し、地域づくりやまちづくりに参画できるリーダーの養成を図る。	青少年指導員：3名 中学生リーダークラブ 「CAPTAIN★TEENS」：7名登録 高校生リーダークラブ 「Rainbow prop」：1名登録 子ども会リーダー研修会企画会議2回 7/23～24事前1泊研修会 7/28～29第1回リーダー研修会 3/11～12第2回リーダー研修会	
町民会議	青少年健全育成町民会議事業	年間		青少年のたくましく健全な成長と青少年問題の理解を深めるとともに健全育成を図る。①あいさつ運動②指導、補導③青少年だより発行④優良青少年表彰	①あいさつ運動②街頭補導③青少年だより発行④優良青少年表彰	
文化連盟	総合文化祭	芸能の部 10/30(日) 展示の部 10/15(土) 16(日)	文化センターさざ波（芸能） 文化センターTOM（展示）	町内の芸術・文化関係者による日頃の活動成果の発表の機会と、町民に芸術・文化活動にふれてもらい文化の振興、発展を促します。		
良いもの見よう聞こう会	芸術鑑賞会	通年	各文化センター	8月26日（金）文化センターさざ波 清水ミチコ トーク&ライブ 9月10日（土）文化センターさざ波 ミッフィーこどもミュージカル	①清水ミチコトーク&ライブ2022 日程 8月26日(金)19:00開演 場所 文化センターさざ波 売上枚数 393枚、入場者数346名 ②ペネロペのなかよし音楽会 日程 10月1日(土)11:00開演 場所 文化センターさざ波 売上枚数 169枚、入場者数161名	
ビッグ・ウェーブ	芸術鑑賞会	通年	各文化センター	未定	実施なし	
体育協会	ゆうべつ五鹿山マラソン2022	5/8(日)	五鹿山スキー場	五鹿山スキー場を駆け上がるマラソン大会を実施することにより、町民の体力増進や健康づくりを高めるきっかけづくりと地域の更なる一体感の醸成を図ることを目的とする。	一般の部（男子28名・女子5名） 33名 高校生（男子）の部 9名 中学生の部（男子3名・女子1名） 4名 小学生（高学年）の部 14名 小学生（低学年）の部 50名 合計110名	教委、スポーツ推進委員も運営協力

報告第1号 令和4年度社会教育事業実績、反省評価について 関連事業（後援・連携事業等）

団体名	事業名	期日	場所	計画内容等	実績（状況）等	備考
スケート協会	第53回湧別町スケート大会	2/5(日)	芭露スケートリンク	1周300mシングルトラックタイムレース（男女混合学年別） 未就学児の部、小学生の部、中学生の部、一般の部、アトラクション（人間ダイビング他）	未就学児の部 5名 小学生の部 32名 一般 5名 合計42名	
実行委員会	チャレンジデー2022	5/25(水)	町内	住民総参加型のスポーツイベントである「チャレンジデー」に参加し、町民の健康づくりや体力づくり、スポーツやレクリエーション活動への参加意欲の高揚と習慣化を推進する。	湧別町 対 秋田県・八峰町 人口 8,314名 6,693名 参加者 5,150名 3,949名 参加率 61.9% 59.0%	
	駒澤大学合気道合宿	7月～8月	レイクパレス	合宿中に行われる公開練習や演武会、教室等の開催により合気道の普及を図るとともに町民との交流を図る。 合宿予定人員：30名予定	新型コロナウイルスの感染症の影響により中止	
	合気道正道友和会合宿	9月	レイクパレス	町内で合宿を行い、公開練習等を通して町民と交流を図るとともに合気道の普及を図る。 合宿予定人員：10名予定		
	北柔会関連道場柔道合宿	10月	湧別総合体育館	柔道合宿のほか、町内の子ども達に対する柔道教室を開催することで、柔道の普及、交流人口の拡大を図る。 合宿予定人員：80名（指導者含む）予定		
	湧別原野林-ツカ加カトリック大会	R5. 2/26(日)	遠軽町 →湧別町	原野コース80km、北大雪コース56km、遠軽コース22km、湧別コース24km、10kmコース、5kmコース、駅伝コース95km		80km（原野コース）出走者 249人 完走者 198人 完走率 79.52% 24km（湧別コース）出走者 101人 完走者 98人 完走率 97.03% 10kmコース 出走者 35名 完走者 35名 完走率100% 駅伝 8チーム 完走 8チーム

報告第1号 令和4年度社会教育事業実績、反省評価について

社会教育施設整備計画（500千円以上または主要なもの）

（単位：千円）

施設名	改修・整備等内容	事業費	実績額	備考
文化センター さざ波・TOM共通	非常用設備修繕<排煙窓>	2,200	2,090	
	情報通信ネットワーク環境整備工事	850	845	
文化センターTOM	歩道補修工事	1,200	1,155	
文化センターさざ波	舞台吊物装置改修工事（全7期中1期目）	27,000	23,430	
	建物塗装工事（さざ波タワー部 全5期中5期目）	22,600	21,450	
	音響設備取替工事〈多目的ホール〉	3,500	3,470	
湧別総合体育館	トレーニング機器リース機器購入 トレッドミル、アップライトバイク インパクトチェストプレス インパクトラットプルダウン インスティンクトペクトラルフライ/リアデルト インスティンクトレッグプレス/カーフ インスティンクトレッグエクステンション/カーフ 各1台（合計7台）	リース4月 ～6月3ヶ月分 325 購入987	リース4月～ 6月3ヶ月分 325 購入987	令和4年6月 30日でリー ス期間満了 のため買取
湧別総合体育館	LED化改修工事	15,300	14,179	外灯6灯
湧別プール				場内42灯
中湧別総合体育館	高圧受電設備改修工事	800	748	
湧別総合体育館	手押し式芝刈機の購入	565	561	
湧別屋内ゲートボール場	非常用放送設備工事	1,940	1,760	
五鹿山スキー場	リフト緊張索更新及び誘導滑車整備工事	6,150	5,830	
湧別図書館	暖房給湯温水器更新工事一式	7,100	6,996	工事請負費
ふるさと館JRY	メイン展示室水銀灯修繕	1,215	1,045	

議案第1号 令和5年度社会教育事業計画、予算について

領域	事業名	期 日	場 所	計 画 内 容	予算額	
基 盤 整 備	①生涯学習情報の収集・提供・相談体制の充実	年 間	—	○情報収集と提供 ・生涯学習情報紙「湧く湧く」の発行（毎月） ・遠軽地区情報紙「なな・なんと情報」の発行（2カ月に1回）（遠軽町が当番町） ・町ホームページによる情報の体系的整理と提供 動画による事業記録を収集し活用法を模索 ○相談体制の充実 ・生涯学習に関する相談体制の整備に努める。	「湧く湧く」 印刷製本費 1,458千円	
	②指導者の発掘・養成・活用	年 間	—	主体的な学習と地域貢献との好循環をすすめるため、様々な分野から指導者を発掘養成し、その活用を図る。	—	
	③団体活動の支援・育成	年 間	—	団体リーダーの養成を図るとともに、団体活動が円滑に行われるよう支援を行う。	—	
	④生涯学習振興奨励事業	年 間	—	グループ・サークル等が主体的に行う講演会や鑑賞会などの学習活動に対して助成を行う。（補助率75%、ただし極めて公益性が高い場合は100%）	3件 300千円	
	⑤施設の整備・運営・連携	年 間	—	公共施設再配置計画など上位計画との整合を図りながら、施設の計画的な補修や整備を行うとともに事業連携・施設間連携により学習効果の向上を図る。	別紙施設整備計画 のとおり	
家 庭 教 育	①家庭教育研修会	12月	文化センター TOM	家庭教育が困難な現状の共通理解と家庭教育の重要性を啓発するための研修会。講演後に参加者交流会を開催。健康こども課と連携し、ニーズの把握に努め定着を図る。PTA連合会に後援、家庭教育サポート企業に協賛依頼予定。開催場所や開催日時、方法について再検討する。	講師謝礼 100千円 需用費8千円	
	②健康こども課との事業協力	年 間	—	健康こども課との打合せ会議を開催し、子育て支援センター、子育て世代包括支援センターとの協力体制の充実を図る。	—	
	③家庭教育相談	年 間	相談室ほか	教育アドバイザーによる子育ての不安や悩みについて身近に相談する機会を提供するため、湧く湧くでの家庭教育コーナーの掲載やホームページの充実を図る。	—	
少 年 教 育	①児童宿泊研修会	6/15(木)～ 16(金)	ネイパル 北見	社会性を培う機会として、全小学校5年生合同で、体験活動を実施。担当教職員の事前打合せと反省会も行い、目的や役割分担の共通理解やノウハウの蓄積を図る。	参加費105千円 (3,500円×1/2 ×60人) 需用費15千円 バス借上料96千円	
	②子ども会の育成・援助	年 間	—	青少年指導センターの活動支援とあわせ、単位子ども会や湧別地区サポート協議会のあり方について指導助言する。	補助金 170千円	
	③第1回子ども会リーダー研修会	7月	五鹿山公園	住民自治の基盤ともなる地域子ども会の主体的な活動が進むよう、子ども会のリーダーとしての役割や心構えを学び、そのために必要な知識や技術の習得をめざす。また、青少年指導員の養成と活躍の機会とする。	青少年指導セン ター会計から支出	
	④第2回子ども会リーダー研修会	R6.3月	紋別市生涯学 習センター			
	育	⑤百人一首教室	11月～1月 毎週土曜日	農村センター	日本古来の伝統の競技を通して、ルールを守る大切さや礼儀作法を身につける機会とする。教室で継続指導することで、指導者と参加者の地域におけるつながりづくりも目指す。また、指導者の育成を図り実行委員会の活性化を促す。大会は実行委と教委との共催。小1～大人まで対象。	報償費24千円 需用費61千円
		⑥第55回新春交歓カルタ大会	R6.1/21 (日)			

議案第1号 令和5年度社会教育事業計画、予算について

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額
少年教育	⑦湧うゆう湧くわく体験塾	年間 (月1回程度)	町内ほか	小学校4～6年を対象に体験の機会を提供し、知的探求心、地域への愛着とコミュニケーション能力を養成する。また、成人ボランティアの指導を仰ぐことで地域の教育力活用を図る。	報償費35千円 需用費20千円 手数料1千円
	⑧湧別町・新篠津村友好都市少年交流事業	8/1(火)～ 3(木)	新篠津村 (派遣年)	自然や産業体験活動など、児童の派遣と受入の交流を毎年交互に行うことで、お互いのまちの魅力を学ぶとともに交流の輪を広げる。小学校5～6年およびリーダーとして中・高校生も参加。小学生は参加経費の半額、リーダーは全額町負担。令和5年度は友好都市20周年となる。	報償費90千円 需用費10千円 バス借上料 360千円
青年教育	①青年団体の育成・援助	年間	青年会館ほか	子どもを対象とした事業、屯田七夕まつりでの出店などを行っている湧別町青年団体協議会を支援し、将来の地域のリーダー育成を図る。	補助金 160千円
	②令和6年20歳の集い	R6.1/7(日)	文化センター さざ波	20歳を迎えた若者を祝い励ますとともに、社会人としての意識高揚を図る。町主催、教委主管。 ※現小学6年生に「20歳の自分へ」の作文収集	報償費499千円 需用費41千円
成人教育	①第47回湧別町民大学	9月～11月 全5回	文化センター TOM	有志実行委員会組織主催。各ジャンルの講師を招き、今日的課題や地域課題等の解決に向けた学習機会を提供する。団体とのコラボ企画や、勤労世代の参加促進にも努める。町PTA連合会との連携事業。	運営費助成 2,000千円
	②第13回ふるさと講座	11/11(土)	未定	町の人を講師に、地域の価値を学び共感する機会提供のための座学講座。郷土学サークル「ふるさとから学ぶ会」との共催で行う。今回のテーマは「リアルマシン」。	講師謝礼30千円
	③第11回我がまち湧別町のお宝をたずねる旅	6/3(土)	川西地区	普段見落としがちな町の価値(＝お宝)を、それに詳しい講師の案内によってバスツアー形式でたずね歩き価値を共有する。今回は川西地区のキング式牛舎や遺跡を訪ねる。	講師謝礼30千円 バス借上料55千円
	④PTA団体への援助	年間	—	各学校のPTAやその連合組織である町PTA連合会の学習活動を支援する。	補助金 180千円
	⑤ボランティア団体との連携	年間	文化センター さざ波ほか	はまなすボランティアなど自主的な奉仕活動を支援する。	—
高齢者教育	①チューリップ生きがい大学の開設	年間 (月1回程度)	文化センター TOM・さざ波 ほか	高齢者が充実した生活を送られるよう学習活動の機会を提供する。自主活動としてのクラブ活動も支援する。	報償費269千円 需用費36千円 印刷製本費80千円 借上料683千円
	②世代間交流事業・社会活動参加奨励	年間	学校ほか	学校からの求めに応じ、小中学校の総合的な学習への支援など高齢者の持つ豊かな知恵・技術を活用する場の提供に努めるとともに相互の交流を図る。	—
	③アクティブシニア向け事業	年間	文化センター さざ波ほか	自分に興味があるジャンルについて3カ月単位で学ぶ「短期大学事業」などを実施し、アクティブシニアの新たな学習の機会を提供する。また、デジタル活用力向上のためスマートフォン教室を開催する。	報償費480千円
芸術の振興文化活動	①文化団体の育成援助	年間	—	芸術文化活動の振興を図るため文化連盟等の育成援助を行う。	補助金 350千円
	②鑑賞機会提供団体の育成援助	年間	文化センター TOM・さざ波	良いもの見よう聞こう会等の活動支援	補助金 10,000千円
	③幼児芸術鑑賞会	7/20(木)	文化センター さざ波	幼児対象 公演内容 ひのき屋のわいわい音楽会	公演料 500千円

議案第1号 令和5年度社会教育事業計画、予算について

領域	事業名	期 日	場 所	計 画 内 容	予算額
芸術・文化活動の振興	④児童芸術鑑賞会	9/20(水)	文化センター さざ波	小学生全学年対象 公演内容 ストリンググラフィアンサンプル	公演料 500千円
	⑤中学生芸術鑑賞会	8/28(月)	文化センター さざ波	中学生全学年対象 公演内容 もったいないミュージカル「SCRAP」	公演料 500千円
	⑥一般芸術鑑賞会	R6.3/16(土)	文化センター さざ波	町民対象(1公演) 公演内容 プリエールプロデュース 「あぶくの流儀」	公演料 3,600千円
	⑦子どもアート体験事業	未 定	未 定	国内外で活躍するアーティストが学校や文化施設に出向き、子ども達と一緒にワークショップや創作活動を行い交流する事業。	—
	⑧文化芸術作品展示会等の奨励	年 間	文化センター TOM・さざ波	湧別町文化連盟加盟団体や町民個人を中心に、絵画や写真などの展示を実施し、芸術文化活動の振興を図る。	—
⑨カルチャー教室	年 間	町内施設	子どもから大人までを対象に興味や一般教養など町民のニーズに合った講座等の開催に努める。	講師謝礼 80千円	
大会の開催等	①第38回サロマ湖100kmウルトラマラソン	6/25(日)	湧別総合 体育館裏	100kmスタート午前5時00分(100kmの部) 総合体育館裏(東道路上)	負担金3,000千円
	②湧別町少年柔道大会「上野カップ2023」	10/7(土)～ 8(日)	湧別総合 体育館	本町のふるさと応援大使であり、柔道オリンピックメダリストの上野姉妹の冠を掲げた全道規模の小・中学生の柔道大会を開催することにより、少年相互の親睦を深め、町の活性化や交流人口の増加を図る。 参加規模：道内外小・中学生400名 大会には上野姉妹のほか、現役の女子柔道の著名人を招致する予定。	歳入総額 3,038千円 参加料700千円 スポーツ振興くじ 2,338千円 歳出総額 3,591千円
	③第48回町民300歳バレーボール大会	12/3(日)	湧別総体総合 体育館・ 中湧別総合 体育館	自治会対抗形式9人制バレーボール大会	消耗品41千円 食糧費33千円
スポーツ教室・講習会事業	【新規】 ①スポーツ王国北海道「スポーツチャレンジ教室」「コーチ・ペアレンツ講習会」	7月～12月 予定	未 定	世界第一線で活躍するアスリート等によるスポーツ体験教室を開催し、子どもたちに対しスポーツの楽しさや魅力を伝え、スポーツに対する興味関心や積極的な参加の機運を高めるとともに、指導者や保護者にスポーツの大切さを理解してもらい、子どもがスポーツに親しむ習慣が促進されることを目的とする。(北海道との共催事業) 講師：未定 対象：教 室 小・中学生 講習会 指導者・保護者	スポーツ推進委員 報酬32千円
	②ジュニアスイミングスクール	7月	湧別プール	正しい泳法を習得させるとともに、泳ぐことの楽しさを味合わせ、水泳の普及拡大を図る。 講師：野口美代子(トッカリ湧波会) 藤田 千秋(トッカリ湧波会) 対象：小学生	講師謝礼 24千円
	③ニュースポーツdeあそぼ	R6.1月～3月 予定	湧別総合 体育館	町内の成人層を対象にスポーツを通じて健康や体力づくりを高めるきっかけづくりと新しいスポーツの普及や地域の活性化を図る。 指導者：スポーツ推進委員 対 象：18歳以上(高校生を除く)40歳未満 内 容：ニュースポーツを実施。	スポーツ推進委員 報酬32千円

議案第1号 令和5年度社会教育事業計画、予算について

領域	事業名	期 日	場 所	計 画 内 容	予算額
スポーツ教室・講習会事業	④ジュニアスケート教室	R6.1月予定	芭露スケートリンク	町内の小学生に対してスケートの楽しさを味わわせるとともに、技法を習得させる。 講師：久保拓也（芭露） 松本桃子（芭露） 藤本祐司（教委職員） 対象：小学生	講師謝礼 24千円
	⑤クロスカントリースキー教室	R6.1/27(土)	五鹿山スキー場	スキーの楽しさを味わわせるとともに、初心者から上級者まで幅広い技法を習得させる。 指導者：スポーツ推進委員 対象：小学生～一般町民	講師謝礼 60千円 スポーツ推進委員報酬7千円
	⑥フィットネススクール	4月～3月	湧別総合体育館・武道館	エクササイズとトレーニング機器を使ったトレーニングを行うことにより、町民の健康維持増進と体力の向上を図る。 ①エクササイズ ②トレーニング機器を使った指導 指導者：未定 対象：一般町民	委託料1,200千円
	⑦トレーニング室指導		湧別総合体育館(2階トレーニング室)	個々に合ったトレーニングメニューやカルテにより、運動の効果や成果を実感してもらい、町民の健康維持増進と体力の向上を図る。 ①個別トレーニングメニュー、カルテの作成 ②正しい器具の使い方・運動相談 指導者：未定 対象：一般町民	
スポーツ推進委員事業	①チャレンジスポーツスクール事業	5月～3月	湧別総合体育館ほか	町内の小学1年生から3年生を対象に毎月1回、様々なスポーツ体験を通じて、スポーツの楽しさや学校を越えた仲間づくりの一助とする。 ※事業内容は変更になる場合有 5月 かけっこ教室・入学式（湧別総合体育館） 6月 フットベース（湧別総合体育館裏） 8月 キャンプ（湧別総合体育館裏） 9月 五鹿山マラソン（湧別運動公園） 10月 柔道教室（湧別総合体育館） 11月 ニュースポーツ体験（湧別総合体育館） 12月 フロアボール（湧別総合体育館） 1月 スケート体験・氷上ホッケー（芭露スケートリンク） 2月 タグラグビー（湧別総合体育館） 3月 ミニ運動会・卒業式（湧別総合体育館） 指導者：スポーツ推進委員、各スポーツ団体指導者 対象：小学1年生～3年生	講師謝礼 パークゴルフ 5千円 フロアボール 10千円 タグラグビー 5千円 スポーツ推進委員報酬269千円
	②巡回スポーツ指導	随 時	町 内	自治会・老人クラブ等の要請に基づき、スポーツ推進委員が出向き、ニュースポーツの指導を行う。	スポーツ推進委員報酬13千円
	③スポーツ推進委員研修	随 時	管 内	町民のスポーツ活動の的確な支援を行うため、研修を通じて委員としての資質向上を図る。 遠軽・紋別地区スポーツ推進委員研修会 遠軽町 オホーツク管内社会体育振興セミナー 清里町 北海道スポーツ推進委員研究協議会 新ひだか町	スポーツ推進委員報酬122千円 費用弁償98千円
団体活動の育成援助等	①少年スポーツ団体の育成援助	年 間	-	少年団本部への補助	補助金600千円
	②一般スポーツ団体の育成援助	年 間	-	体育協会への補助	補助金711千円
	③大会出場助成	年 間	-	全道大会以上の出場者に対して遠征費の一部を助成する。（湧別町スポーツ・文化遠征費補助金）	補助金2,000千円
	④合宿誘致助成	年 間	各施設	合宿を誘致することにより町のスポーツの振興を図る。（湧別町スポーツ・文化合宿誘致事業補助金）	補助金1,238千円 詳細は別紙関連事業に記載のとおり

議案第1号 令和5年度社会教育事業計画、予算について

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額
施設の整備活用	①施設の整備	年間	各施設	施設の点検、適正な維持管理を図る。	詳細は別紙社会教育施設整備計画のとおり
	②施設の活用	年間	各施設	指定管理施設の適正かつ効率的な運営に対する監督、学校開放施設に関する利用調整など体育施設の有効活用を図る。	学校開放運営報償 120千円
その他	①スポーツ安全保険の加入促進	随時	-	広報周知寺R5よりインターネット（スポあんネット）にて各自加入する。（加入依頼書による加入手続きはR4を以て終了）	手数料1千円
図書館	①図書館資料の収集、整理、保存	年間	両館	両館を特徴付けた選書を行い、それぞれに蔵書を区分し保存する。 ・資料等計画的に幅広く豊富に備え、適切な蔵書構成を維持する。 ・貴重資料のデジタル保存	資料費(図書、雑誌、新聞、視聴覚) 8,270千円
	②利用促進、読書機会の提供	年間	両館	調べものの相談、案内を通して利用促進を行う。	
				インターネットによる情報発信を行う。 ・デジタル資料の公開 ・事業のお知らせ ・司書によるおすすめ本の紹介 ・図書館だより、新着図書案内	
				来館が困難な町民に対して宅配便を活用して個別に配送貸出を行う。 ・宅配貸出サービス	
③ブックスタート	毎月1回	健診会場	4ヶ月児健診時に、乳児とその保護者へブックスタートパック（絵本などが入ったバッグ）をメッセージと共に手渡す。また、就学時健診時には絵本を1冊とブックガイドを渡す。 協力（バッグ制作） ・ルビナスの会	資料費（絵本） 142千円	
④絵本くらぶ	年間 (毎月1回)	両館	3歳までの乳幼児がいる家庭におすすめ本セットを宅配する。（登録制）		
活動	⑤移動図書館車の運行	年間	両館	移動図書館車で町内を巡回し、広域サービスを実施する。機動性を活かし遠隔地域を中心に据え、子どもから大人まで図書に出会う場を広げ、読書活動の推進を図る。 図書館職員が選本した文庫を配本する。 ・各小中学校、義務教育学校、湧別高校 ・各郵便局 ・児童施設 ・高齢者施設等	
	⑥学校図書館支援	年間	町内学校	・クラス配本 ・学校図書館用図書の購入支援 ・学校図書館レイアウト相談 ・学校図書館蔵書管理、蔵書計画 ・図書館見学の受入 ・職場体験の受入 ・読書オリエンテーション ・家読おすすめ絵本リスト作成配布 ・読書通帳の提供	

議案第1号 令和5年度社会教育事業計画、予算について

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	
図書館	⑦古本コーナー	年間	両館	古本、古雑誌のリサイクル活動。		
	⑧特別展示	9月～10月	両館	町民大学講師著作展示		
		年間	両館	テーマ：年中行事		
		4/23～5/10	両館	子ども読書週間		
		10/27～12/5	両館	読書週間		
		7/12～7/27	湧別図書館	絵本原画展「チリとチリリ ちかのおはなし」（どいかや／作・絵）	著作物使用料 30千円	
	年間	両館	協力展示（展示スペースの貸出）	—		
	活動	⑨連携・ネットワーク	年間	両館	ボランティア、サークル育成 ・読み聞かせ活動支援（りんごっこ、リーディング倶楽部たんぼぼ、湧別高校ボランティア部）	
			年3回	児童センター	児童センター事業支援 ・読み聞かせ会参加協力、読書推進事業の実施	
			会議3回 研修1回	湧別図書館	図書館協議会 ・定例会議 ・委員視察研修（町内学校図書館）	
7月～9月			両館	・北海道教育委員会主催「本を読んでファイターズを応援しよう」キャンペーン参加		
文化財保護活動	①文化財の保護(1) 埋蔵文化財	年間	町内各所	○開発行為に伴う埋蔵文化財の保護事業 ・開発事業者との事前協議 ・所在調査、試掘調査 ○埋蔵文化財包蔵地の状況把握 ・現状確認（遺跡パトロール） ・周知資料（台帳等）の整備 ◎シブノツナイ竪穴住居跡の調査 ・発掘調査：竪穴住居跡の年代等内容確認 *7月中旬～8月中旬予定 ・発掘調査概要報告書の刊行 ○シブノツナイ竪穴住居群調査検討委員会の開催 ・有識者3名、国・道の担当者2名程度 ・夏と冬の2回開催	委託料 (年代測定等) 1,038千円 印刷製本費 248千円	
	②文化財の保護(2) 自然関連	年間	町内各所	○北海道指定文化財アッケシ草群の経過観察 ○天然記念物の手続（死亡・はく製・調査） ・オジロワシ ・タンチョウ ○記念木業務における関連部署との調整		
博物館活動	①博物館資料(1) 収集	年間	郷土館・ふるさと館 JRY	【開拓関連資料】 ○資料寄贈への対応 【考古資料】 ○発掘調査に伴う出土資料の譲与申請		
	②博物館資料(2) 整理・保管	年間	郷土館・ふるさと館 JRY ・収蔵庫	○考古資料 ・シブノツナイ竪穴住居群出土資料の整理 ・試掘調査等出土資料の整理 ○開拓関連資料 ・資料の保存環境整備 ○収蔵庫の管理と保管資料の状況確認 ・金属資料の清掃整理（防さび塗料塗布等） ・資料外保管物の処分 ・JRY収蔵量増加 ・資料移動（旧邑小体育館） ○収蔵資料の特別利用許可に関する業務		

議案第1号 令和5年度社会教育事業計画、予算について

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額
博物館活動	③博物館資料(3)展示	年間	郷土館・ふるさと館 JRY	<ul style="list-style-type: none"> ○常設展示更新 <ul style="list-style-type: none"> ・解説パネルの追加と更新 ○収蔵資料展示 <ul style="list-style-type: none"> ・発掘調査速報展(仮) ・「発掘された日本列島2023」文化庁主催への協力 <ul style="list-style-type: none"> *シブノツナイ 竪穴住居群の写真・説明文を提供 ①山梨県立考古博物館 9/16~10/29 ②対馬市博物館(長崎県) 11/11~1/8 ③平城宮いざない館(奈良県) 1/20~2/11 ○収蔵展示室整備 	
	④調査研究	年間	—	<ul style="list-style-type: none"> 【博物館資料(開拓期)の保存・活用】 ○保存 <ul style="list-style-type: none"> ◎屯田関連情報の収集 ○活用 <ul style="list-style-type: none"> ・開拓期の衣食住 ・冬期の生活 【埋蔵文化財の保護と活用、博物館教育】 ○道史跡の守るべき範囲・価値の明確化 <ul style="list-style-type: none"> ・シブノツナイと他の道内竪穴群との比較研究 ・擦文集落形成に関する調査研究 ・発掘出土資料の自然科学分析 ○教材研究 <ul style="list-style-type: none"> ・遺跡を活用した博物館教育の実践的研究 ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・大学等研究者との共同研究 	
	⑤博物館教育(1) 学校授業・研修会・講座	年間	郷土館・ふるさと館 JRY	<ul style="list-style-type: none"> 【学校授業・研修会・講座】 ○開拓の歴史 <ul style="list-style-type: none"> (博物館が持つ過去の生活情報の内、日常生活に活用できるものを体験学習として実施) ・労働体験(鋸・斧・鉋) ・開拓期の衣体験 ・囲炉裏疑似体験(屯田生活体験館) ○先史文化 <ul style="list-style-type: none"> (文化財である遺跡に触れ、親しむ機会の提供) ・先史の工夫を学ぶモノづくり学習(土器・勾玉) ・遺跡に親しむフィールドワーク ・遺跡の知識を深める講座 遺跡調査報告会(11月予定) *調査成果に応じて実施を判断する ・発掘調査の現地説明(主に学校を対象) ・発掘調査を通じた大学との連携 	講師謝礼 70千円
	⑥博物館教育(2) 広報・情報提供	年間	—	<ul style="list-style-type: none"> 【広報・情報提供】 ○博物館だよりの発行(湧く湧く内、HP) ○郷土史に関する情報提供及び質問対応(レファレンス) 	

令和5年度 関連事業（後援・連携事業等）

団体名	事業名	期日	場所	計画内容等	備考
青少年指導センター タ ー	子ども会フットベースボール大会	6月下旬(日)	未定	地域子ども会の大会への参加を通して、青少年の健全育成を図ると同時に、地域子ども会活動の促進と、相互の交流を図る。また、監督会議や反省会等を通じ、子ども会で構成される組織運営の健全化を図り、地域自治の基盤づくりを支援する。	
	子ども会交通安全駅伝競走大会	8月下旬(日)	開盛小→中湧別小		
	子ども会ミニバレーボール大会	11月下旬(日)	中湧別総合体育館 湧別総合体育館		
	子ども会リーダー研修会	7月3日	五鹿山公園 紋別生涯学習センター	社会教育事業 少年教育参照	
	中高生リーダーの養成	年間	町内	リーダー研修会の企画運営などを行う、中・高生リーダークラブと、その指導にあたる青少年指導員の活動を支援し、地域づくりやまちづくりに参画できるリーダーの養成を図る。	
町民会議	青少年健全育成町民会議事業	年間		青少年のたくましく健全な成長と青少年問題の理解を深めるとともに健全育成を図る。 ①あいさつ運動 ②指導、補導 ③青少年だより発行 ④優良青少年表彰	
文化連盟	総合文化祭	芸能の部 10/29(日)	文化センター さざ波(芸能)	町内の芸術・文化関係者による日頃の活動成果の発表の機会と、町民に芸術・文化活動にふれてもらい文化の振興、発展を促します。	
		展示の部 10/14(土) 15(日)	文化センター TOM(展示)		
良いもの見よう聞こう会	芸術鑑賞会	7/8(土)	文化センター TOM	大黒摩季30th Anniversary Best Live Tour	
		10/22(日)	文化センター さざ波	はいだしょうこ&恵畑ゆうファミリーコンサート	

令和5年度 関連事業（後援・連携事業等）

団体名	事業名	期日	場所	計画内容等	備考
体育協会	ゆうべつ五鹿山マラソン2023	9/10(日)	五鹿山スキー場	五鹿山スキー場を駆け上がるマラソン大会を実施することにより、町民の体力増進や健康づくりを高めるきっかけづくりと地域の更なる一体感の醸成を図ることを目的とする。	教委、スポーツ推進委員も運営協力
スケート協会	第54回湧別町スケート大会	2/3(土)	芭露スケートリンク	1周300mシングルトラックタイムレース（男女混合学年別） 未就学児の部、小学生の部、中学生の部、一般の部、アトラクション（人間ダイビング他）	
実 行 委 員 会	チャレンジデー2023	5/31(水)	町内	住民総参加型のスポーツイベントである「チャレンジデー」に参加し、町民の健康づくりや体力づくり、スポーツやレクリエーション活動への参加意欲の高揚と習慣化を推進する。	
	駒澤大学合気道合宿	7月～8月	レイクパレス	合宿中に行われる公開練習や演武会、教室等の開催により合気道の普及を図るとともに町民との交流を図る。 合宿予定人員：20名予定	
	合気道正道友和会合宿	9月	レイクパレス	町内で合宿を行い、公開練習等を通して町民と交流を図るとともに合気道の普及を図る。 合宿予定人員：20名予定	
	北柔会関連道場柔道合宿	10月	湧別総合体育館	柔道合宿のほか、町内の子ども達に対する柔道教室を開催することで、柔道の普及、交流人口の拡大を図る。 合宿予定人員：80名（指導者含む）予定	
	湧別原野林ツクワカントリースキー大会	R6. 2/25(日)	遠軽町→湧別町	原野コース80km、北大雪コース56km、遠軽コース22km、湧別コース24km、10kmコース、5kmコース、駅伝コース95km	

議案第1号 令和5年度社会教育事業計画、予算について

令和5年度社会教育施設整備計画（500千円以上または主要なもの）

（単位：千円）

施設名	改修・整備等内容	事業費	備考
文化センターTOM	排気ファン修繕	650	
	インターロッキング補修工事	530	
	ロビー木質化工事	20,600	
	個室型ベビーケアルーム購入	3,600	
文化センターさざ波	舞台吊物装置改修工事（全7期中2期目）	37,800	
湧別屋内ゲートボール場	LED化改修工事	5,050	屋内45灯 外灯6灯
五鹿山スキー場	リフト非常用制動機取替工事	2,628	
	東側ゲレンデ拡幅工事	10,000	
	支柱クッションマット購入	891	
	コース安全ネット購入	1,417	
中湧別図書館	大型ロールスクリーン更新修繕	1,030	
ふるさと館JRY	トイレウォシュレット化修繕	537	
	ボイラー煙突清掃整備修繕	2,240	